

学校だより 本郷

令和3年(2021)8月号

松本市立本郷小学校

始業式の校長講話 『続けることに大きな意味がある』

33日間の夏休みが終わって、今日から2学期が始まります。みなさんの元気な姿を久しぶりに見ることができて、校長先生もとってもうれしく思います。

今年の夏休みはとっても暑かったですね。ただ、夏休みの後半は、大雨が続いたりコロナウイルスによる感染状況が悪化したりして、お家で家族と一緒に落ち着いた生活をしていたお友だちも多かったかもしれません。でも、みなさんからの事故や大きなけがの知らせが1つもなかったことが、校長先生には一番うれしいことでした。みなさんが、担任の先生との約束をしっかりと守って、安全に過ごしてくれたからだと思います。ありがとう。

さて、みなさんは、この夏休みに東京オリンピックをテレビ等で観戦しましたか。校長先生は様々なスポーツを観戦しました。皆さんに一学期終業式の時に紹介した陸上競技も観ましたが、今回のオリンピックでは、何ととっても若い選手の活躍が、日本人では目立ちましたね。

その中でも、スケートボード(ストリート)で金メダルを獲得した「西矢 椋(もみじ)選手」、同じくスケートボード(パーク)で銀メダルを獲得した「開心那(ひらき ここな)選手」の活躍には驚きました。

西矢椋選手は、現在13歳の中学2年生で、日本人史上最年少の金メダリストになりました。彼女は小学校1年生から本格的にスノーボードを始めたそうです。

開心那選手は、現在12歳の中学1年生で、日本選手史上最年少でのメダリストとなりました。お父さんと一緒に5歳からスケートボードを始めたそうです。

この二人に共通していることがあります。それは、とにかく、「滑ることが楽しかった。新しい技ができるようになるのがうれしかった。もっと上手になりたいと思っていた。」という気持ちです。そして、楽しいことをずっと毎日続けてきた延長に、東京オリンピック出場が決まり、メダルも獲得してしまったということです。すごいことですよ。

そして、もっとすごいと思ったことは、競技が終わったあとのインタビューで、もう直ぐに明日からでもスケートボードをやりたいと話していたことです。二人にとって、このオリンピックがゴールではないんですね。スケートボードが楽しくて楽しくてしょうがないんでしょうね。

そこで、この二人のメダリストの姿から二学期皆さんに頑張ってもらいたいことが浮かんできました。それは何かというと、何か1つ続けられることを見つけて、それを長く続けてほしいということです。どんなに簡単なことでも、それを毎日続けるのは大変なことです。毎日続けると大きな成果があるとわかっていても、なかなか続けられません。でも、自分の好きなことだったら続けてやれるかもしれません。

今日、児童代表として発表してくれたお友達のように自分の目標を持って取り組んでいくことも、とても素敵だと思います。毎日本を読む。毎日ピアノをひく。毎日丁寧な字を書く。毎日休み時間に外で遊ぶ。宿題を毎日やる。毎日給食を残さずに食べる。毎日絵を描く。どんなことでもいいです。以前、お話をしてきた「あいさつを元気に毎日する」「そうじを毎日しっかりやる」でもいいです。自分が好きなこと、自分ができることを見つけ、続けてみてください。もうすでに、続けていることがあれば、今のまま続けてください。続けた先に、きっといいことがありますよ。二学期も元気にがんばりましょう。

新型コロナウイルス感染防止の取組

2学期が始まって1週間が過ぎ、子どもたちは学校生活のリズムを徐々に取り戻してきました。感染防止のため登校時刻や日課の変更、行事の延期や休み時間の過ごし方など急な変更が続いていますが、自分やまわりの人を感染から守るために一人一人が考えて取り組んでいる姿が見られます。

様々な場面でがまんすることが続く毎日ですが、子どもたちはとてもよくがんばっています。保護者の皆様にもご協力いただき本当にありがとうございます。

感染レベル上昇に伴い、学校では次のような感染対策に取り組んでいます。

1 校内の感染対策

(1) 健康観察の徹底

登校後すぐに健康チェックを行っています。開扉時刻が遅くなり、ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

(2) 授業等における感染対策

向かい合っでの活動やグループでの活動は、感染レベルに応じて実施を控えています。また、歌唱や楽器の演奏、調理活動等、感染リスクの高い活動は中止しています。学年・学級の交流や地域の方、外部講師の方との交流についても中止しています。



(3) 手洗い・換気・黙食の徹底

教室、廊下の窓を開け、常時換気を行っています。手洗いの時間を確保するとともに、石けんボトルの数を増やして手洗いの徹底を行っています。また、給食では黙って食べるよう指導を継続しています。牛乳ビンの片づけ、トイレ清掃は、職員が行っています。

(4) 三密の回避

休み時間の使用割を決め、学級単位で遊んだり、図書館を利用したりできるよう配慮しています。手洗いの場所を学年ごとに分けるなど、三密の回避を図っています。

2 行事・活動の変更について

2学期に予定している行事や活動について感染リスクを回避した実施方法を検討しています。今後の行事や活動について、次のように変更する予定です。なお、現時点での予定ですので、今後の状況により変更となる場合があることをご承知ください。

(1) 実施日を変更するもの

◇5年美ヶ原高原学習 ◇6年修学旅行 ◇2年女鳥羽川自然観察 ◇避難訓練・引き渡し訓練

(2) 中止するもの

◇特別支援学級「ふれあい教育展」

(3) 実施方法を検討しているもの

◇音楽会：児童席や保護者席の密接・密集が回避できないことや歌唱や楽器の共用などによる感染リスクを避けられないため、発表方法について検討しています。

お知らせ

9月6日（月）から8日（水）までの3日間、信州大学医学部保健学科の実習が本校で行われ、2名の実習生が児童の学校生活の様子を見学したり、保健指導を行ったりします。実習生は、大学や本校の指導のもと、不要不急の外出を避け、県外への外出をしない等の健康管理を行ったうえで実習を行います。ご理解・ご協力をお願いします。（文責：教頭）